

平成29年12月5日(火) 第25号

北九州市立折尾東小学校

学校だより

〒 807-0824



おりひがっこ

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 松本 拓士

子どもたち一人一人が笑顔ですごく学校をめざして



1 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

平成29年4月18日(火)に、文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が6年生を対象として行われました。本年度の調査結果の分析と今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。学校では、他の教科・領域も含め、総合的に学力向上を目指していますが、この調査を参考として、本校の子ども達の学力が伸びていくように、学校はもちろんですが、ご家庭とも協働してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴) ○よくできた問題 △努力が必要な問題
国語A	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率を下回ったが、確実に差は縮まった。 ・話し合いの様子から中心を捉える力に課題がある。普段経験しにくい手紙を書くなどの体験も大切にしたい。 ○漢字を読む問題 △手紙、俳句の問題
国語B	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率をやや下回ったが、昨年度より差は縮まってきている。目的や意図を読み取り、書く力の向上が課題である。 ○スピーチメモのよさを捉える問題 △目的に応じて書く問題
算数A	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率はわずかに下回ったが、無解答率が低く、粘り強く取り組んだ。数と計算は全国平均を上回っている。量と測定・数量関係が課題である。 ○分数、小数の計算をする問題 △割合、表の問題
算数B	全国平均正答率を下回っている。	・全国平均正答率を下回っていたものの、今まで苦手としていた記述式の問題で正答率が全国を上回ったものがあった。 ・量と測定・数量関係が課題である。 ○仮の平均を用いた問題 △説明を記述する問題

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

- ・「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」と答えた児童の割合は、全国平均をかなり上回っている。全校で取り組んでいる成果がでてきている。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という児童の割合が全国平均よりも多い。
- ・「話し合う活動を通して、自分の考えを人に伝えたり、深めたりすることが難しい」と考えている児童の割合が減ってきている。

2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

- ・学校の宿題をしている児童の割合は、全国と比べて高い。
- ・「自分で計画を立てて、勉強している」と答えた児童の割合は、全国と比べて低い。
- ・学校が休みの日に勉強を全くしない児童の割合は、全国と比べて高い。
- ・家庭学習の時に、自主学習をしている児童の割合は、全国と比べて低い。

② 生活習慣等に関する調査結果の分析

- ・「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童の割合は、全国と比べて同じくらい。
- ・「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合は、全国と比べて高い。責任ある仕事を任せ、成功体験を積み、達成する喜びを味わってきた成果が出ている。
- ・「毎日同じぐらいの時刻に起きています」と答えた児童の割合は、全国と比べて低い。

3 課題解決のための重点的な取組

① 学校で取り組むこと

- がんばりタイムの充実(国語・算数の基礎基本定着問題などの実施)。
- 授業の中などで、話す力・聞く力・伝え合う力を育む指導法の研究していく。
- 授業の中などで、自分の考えを書く活動を位置付ける。
- 全学年、個に応じた習熟度別学習を実施する。○ 教師の指導力の向上を図る。

② 家庭で取り組んでいただきたいこと

- 毎日、学習する習慣をつける。(低学年15分、中学年30分、高学年45分)
小学生のうちにぜひ、身に付けてほしい習慣です。その間はテレビを消して、静かな環境にすることが大切です。終わったら、のびのびさせてあげてください。
- 内容は宿題と自主学習・読書などを行う。
宿題は国語や算数などの基礎的な復習が中心です。繰り返しやることで、「わかる」から「できる」になります。宿題の内容をよく見て、つまづきを見つけたり、がんばったところをほめてあげたりしてください。自主学習に取り組むことで、達成感や学習意欲が増します。